会報
通刊75号

# 熊本県日中協会

～さらなる友好の絆を～

平成21年
12月発行

＜発行＞
熊本県日中協会
会長 柏木 明
＜事務局＞
〒860-0846 熊本市城東町4-2
熊本ホテルキャッスル2F
Tel096－356－4847
Fax096－325－2829

## 「聖山、孔子」に感激

### 協会主催 二大世界遺産の旅

熊本県日中協会主催の「二大世界遺産の旅」の訪中団（柏木団長）が十月十九日（月）から二十三日（金）まで、十人が参加して**山東省**の各地を旅しました。

福岡からの直行便で青島へ。**済南**への途中・**淄博**で十三年前に高速道建設中に発見された「殉馬坑」と斉国古城博物館は、当時の激戦を物語っています。済南では、天下の名泉「趵突泉」で多くの市民が憩いのひと時を過ごしていました。夕刻、**山東大学**で日本語学科の学生と和やかに交流会を開きました。

いよいよ**泰山**へ。秦の始皇帝から歴代皇帝が崇拝した「聖山」には、奇岩絶壁に築かれた七千段の石段を登る人の列が絶えまなく続いています。もちろん、訪中団一行はロープウェーで。頂上まで全員完歩、山頂では当時の皇帝たちに思いをはせていました。

**曲阜**は孔子の生誕地。孔子と一族が眠る「孔林」には、なんと十万を超えるお墓があります。孔子を祀る「孔子廟」、龍の柱が見事。帰国の朝、山から展望、異国情緒をドイツの租界地時代の味わいながら帰国の途建物が残る青島を小魚につきました。

泰山の山頂付近

**10月19日～23日　山東省の5日間**

**青島～淄博～済南～泰山～曲阜**

泰山山頂での麺作り風景

2面に訪中団の写真と交流会記事を掲載します

孔府の櫺星門（れいせいもん）

## 2010年 春節祝賀会は2月23日（火）

### ～留学生を100名招待～

熊本ホテルキャッスル　午後六時～
会費　一万円（当日会場で）

2009年2月の春節祝賀会

# 「流暢」に日常紹介

## 山東大学での交流会

## 訪中団と和やかに語り合う

「二大世界遺産の旅」の訪中団は、山東省の省都・済南の名門校、山東大学を訪問。中国をより深く理解し、交流を深める目的で、同大学の外国語学院日本語学科学生約三十人（主に一、二年生）と交流会を催しました。

**キャンパスを紹介**

同学科の邢永風・主任副教授が訪中団を日本語で紹介。次いで、学生たちが大学のキャンパスや学生生活などをスライドで紹介。八年前、同学科に設立された日本語文化協会の学生は、富士山の絵をあしらったスライドを制作。日本人との日本語での交流風景を描いて笑いを誘いました。中には日本時事新聞を毎週作って、食堂に張り出している学生も。

山東大学を紹介する学生

**柏木会長が「ぜひ熊本へ」**

この後、柏木団長が熊本県日中協会の設立趣旨を説明。「私たちの協会は（先人たちが築いた）中国との深い友情で結ばれ、毎年、春節では中国人留学生招いて交流しています」とあいさつ。さらに「皆さんが日本を知ろうと努力されているのに感激しました。熊本にもぜひ、お越しください」。

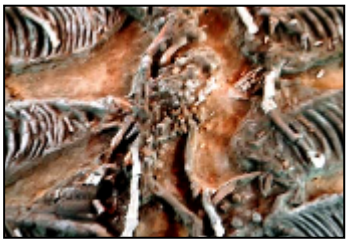
協会から書籍を寄贈する柏木会長。左は邢永風教授

最後に、同大学からの希望で購入、持参した日本の専門書や若者のファッション雑誌、合わせて十数冊を贈呈。日本語学科前で記念撮影して別れました。

同大学と熊本大学とは交換留学制度があり、昨年、熊大に留学した二人の女子学生もこの交流会に参加しました。

## 訪中団スナップ

チンタオの租界地



殉馬坑に横たわる馬の骨群

豊富な水が湧き出る趵突泉

曲阜で電気自動車に乗り込む訪中団員

KUMAMOTO
くまもと農畜産物ブランドマーク

食料自給率向上は国民みんなの願い
地産地消で元気なふるさとづくり
～現在「みんなのよい食キャラバン街宣活動」展開中です～
JAグループ熊本

しょく
みんなのよい食プロジェクト
矢味ちゃん

# 環境問題、貧富の差拡大

## 全世界が注目する中国

協会主催講演会

県立大学 上拂准教授

上拂耕生氏

熊本県日中協会主催の講演会「中国を知ろう」が十月十八日（日）午後二時から、熊本市水道町のパレア熊本十階会議室で、熊本県立大学の上拂耕生・准教授を講師に開かれました。

会場には協会会員など約三十人が出席。柏木会長あいさつの後、「建国六十周年、中国は今後どうなるのか」と題して講演。

全世界が注目している中、中国政府が抱える様々な問題や共産党政権は今後も続くのか、など、スライドを使って説明。

講演する上拂耕生（うえはらい こうせい）准教授

**医療費など問題山積**

まず国が抱える問題として、（1）環境（2）失業（3）民主・人権・法律（4）貧富の差の拡大（5）医療費―を今後の課題として列挙。

**「行政訴訟」はあるが**

また、民主化への道として、情報公開制度があるが不合理な理屈で拒否され、法治の実現への道として行政訴訟制度があるが、実態は法規定に従って正しく運用されていないーと指摘。

**ガス抜き的改革では**

今後はＢＲＩＣＳの一国であり、軍事力の増大、ＧＤＰの大幅な伸び、国際的な発言力が増す中で、国内外の批判をかわしながら、現政権・現体制の「正統性」「正当性」を維持し、「ガス抜き的改革」で本質的には変わらないだろうと分析。

最後に参加者の質問があり、閉会しました。

上拂准教授を紹介する小野友道文化経済交流部会長

# 「上海万博参加」で検討

理事会で決定

熊本県日中協会の平成二十一年度第二回理事会が、十二月九日（水）午後三時から、熊本市国際交流会館で、約三十人が出席して開かれました。

会に先立ち、十一月に亡くなられた理事の河津龍介氏に黙祷をささげ、会長の挨拶の後、議事に入り、春節祝賀会について二月二十三日（火）開催の執行部案を全会一致で決定。

次いで柏木会長（議長）が来年開催の上海万博への事業参加について、これまでの経緯を説明。参加することで承認を得ました。今後、県などと情報交換しながら、取り組み方など具体的な案を検討して行くことになりました。

なお、新入会員法人二団体、個人五名が紹介され、承認されました。

## 入乡随俗

中国のことわざ

郷に入れば郷に従う

太陽と緑のとっておき果汁

JA熊本果実連

【本部・熊本工場】 〒861-8514 熊本市小山町1846
Tel.096-389-3311 Fax.096-213-3286
【ホームページアドレス】 http://3kj.jp

# 広がれ共生の和～

## 第16回熊本国際交流祭典

## 熊本県日中協会も出展

国際交流や国際協力を行う民間団体の集い、「第十六回熊本国際交流祭典」が十一月一日（日）、熊本交通センターコートで開催されました。（熊本県国際協会主催）

各団体の活動を紹介するパネル展示やバザー、民族衣装・着物・茶道の体験コーナーなどが所狭しと並び、会場はお祭り一色。日中協会も世界のグルメコーナーに出展。中国茶をふるまいました。

県日中協会のコーナーでは中国茶でおもてなし

以下、会場の模様アラカルトです。

記念撮影に収まる外国と日本の友人たち

茶道の体験コーナー

親子づれでにぎわう世界のグルメコーナー

# 「ミカン」に歓声響く

## 帰国者らが山鹿で交流会

熊本県中国残留孤児等対策協議会（中対協）の中国帰国者交流会が十一月二十六日、山鹿市の愛隣農園で帰国者ら四十二名が参加して行われました。

中対協が熊本県日中協会に委託している事業の一環。中対協会長で、日中協会顧問でもある、三浦一水前参議のご好意でミカン狩りが実現。

当日は快晴に恵まれ、大型バスから降りた帰国者らは、マイクロバスでミカン山へ向かいました。早速収穫したミカンを口にほおばり、「甘い」を連発する人も。

一息入れたあとはバーベキュー。帰りはお土産のミカンを袋いっぱいに入れて、楽しい一日を過しました。

おいしいミカンとバーベキューに話がはずみます

民族衣装の試着体験

## 編集後記

今回は山東省の訪中記、交流を交えた紙面になりました。現地の日本語熱も盛んで、彼らの情熱に圧倒され気味でした。

泰山と曲阜は歴史も古く、ホテル・食事の内容も良かっただけに、参加者が少なかったのが残念でした。

今年で協会参加三回目の国際交流祭典にも、日中協会員の関心が高まることを期待します。

講演会は深く掘り下げた、滅多に聴けない中国問題に、熱い質問が相次ぎました。今後も中国への理解を深めていただく目的で、新たな講演会も準備中です。どうかご期待ください。

（機関紙編集委員会・小串　照彦）